

2025年 3月18日
新日本婦人の会大正支部
支部長 小橋川 茂子
大阪市大正区小林東3丁目6番6号
TEL 06-6551-7237

要 請 書

私たち新日本婦人の会は1962年の創立以来、こどもの幸せ、平和と暮らしの向上など女性の願いの実現めざし、全国で運動している国連NGOの女性団体です。私たちの会では、町ウオッチング、防災ウオッチングを昨年地域に分かれて行い、気づいた点があり、下記の事項を区役所を通じて改善していただきたく要請いたします。学校の問題もあわせて要請いたします。

大正区民にとって、路線バスはとても重要な交通手段で快適に便利に利用できるように下記のことを要望してください。また、公共施設のトイレの洋式化と多目的トイレの設置を再度要請します。高齢化に伴い、和式便器が使いづらい利用者が増えています。障がい者が使える多目的トイレももっと必要です。

大正区の周りに7か所あり、区外に行く時に橋の代わりをする渡船は区民にとって大切なものです。日頃から安全運航されていることに感謝しています。しかし、正月の元日に渡船が運航されていないのが不便だと声が上がっています。元日も区外に行く仕事や用事があります。大変遠回りしたり、橋桁の高い橋を渡るのは、体力のない人には無理で時間もかかります。道路と同じ扱いの渡船ですから、ぜひ元日も運航されるように要望いたします。

防災について、民間の津波避難ビルの表示をもっとわかりやすくしてほしいと要請いたします。また、津波避難ビルをさらに多く設置してください。特に大正内港に隣接する小林西地域の津波避難ビルは「ふれあい福祉センター」のみです。南恩加島地域でも千本松橋は津波避難施設に指定されていますが、実際は大人でも避難するのは難しく、高齢者や女性、幼児、乳児、障がいのある人などはさらに避難できません。

学校の問題については、小林小学校・平尾小学校統廃合問題です。説明会を2回ずつされましたが、同じ説明ばかりで納得する内容ではありません。2つの小学校の子どもたちの双方に負担がかかります。本当に地域にとっても大切な小林小学校は残せないのか、統合しなければならないのか、さらに考えることの出来る説明会をもっと多くの大正区民の方が参加できる場所で何度も開催していただくように要請いたします。また大正白稜高校の募集停止も大きな問題です。これにより、大正区から数年のうちに高校がなくなります。区民の生活に影響のあるこの問題をどのようにお考えか聞きたいと思います。

<要 請 事 項>

1. シティバスの停留所の照明切れ、接近表示の故障、屋根や支柱の破損などを早急に改善して、こまめな点検と管理をシティバスに要請してください。
2. 大正会館 3階のホール横の女子トイレの洋式便器の増設と多目的トイレの設置、区民ホール、アゼリア大正についてもさらに洋式化をすすめてください。
3. 1月1日の渡船の運航を要請します。
4. 民間の津波避難ビルの表示の改善を要請します。(例 平尾 ウェスト駐車場に表示なし 南恩加島 三栄建設社屋の2階食堂の外側に表示あるが気づかない。1階通用門に表示ほしい)
5. 小林西地域、南恩加島地域の民間ビルやマンションを津波避難ビルとして活用できるように区役所から働きかけてください。津波避難ビルを増やしてください。
6. 小林小学校と平尾小学校の統廃合問題について、地域の教育を考える集会を要望します。
7. 3校あった高等学校が大正区からなくなることについて、今後の大正区の子育てのしやすさや大正区の発展の観点から区役所の見解をお聞かせください。

以上